

Environmental Report 2006

環境改善の取り組み (その2)

廃棄物削減

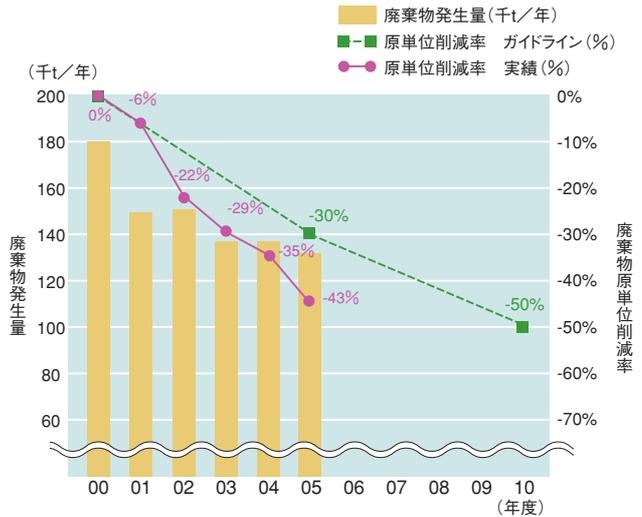
廃棄物の削減についても、環境基本方針に基づき、2000年度を基準に2010年度末までの全所社の廃棄物売上高原単位(廃棄物発生量/売上高)の削減率目標値ガイドラインを設定して、廃棄物削減に取り組んでおります。全体としてガイドラインの2005年度目標値である削減率30%をクリアしております。

2005年度は特に廃プラスチック、廃油などのリサイクルを推進してまいりました。

今後も、三井金属グループ内のほとんどの所社でISO14001認証を取得しましたので、より一層系統的に廃棄物削減などの成果が上がるよう推進してまいります。

※注 (昨年の環境報告書のグラフからの変更)
関係官庁のご指導により00~05年度の廃棄物の種類及び数量を見直しました。

三井金属グループ全体の廃棄物削減計画&実績



環境汚染物質の排出量削減

2001年施行のPRTR法(化学物質排出把握管理促進法)に基づき、三井金属グループの化学物質の排出量・移動量を取りまとめました。排出量は上位10物質で全体の99%を占めております。マンガンなどは排出量が減少しておりますが、砒素は原料鉱石の種類の影響で増加しております。

神岡部品工業(株)では、部品洗浄において洗浄剤として使用していたジクロロメタンを、2005年度より温水洗浄に切り替えることによって大幅に削減し、2006年度中に使用を中止する予定です。

今後も三井金属グループは、環境汚染化学物質の使用中止、代替化、回収など排出削減に努めてまいります。

また、自動車機器事業部、ダイカスト事業部、機能粉事業部、マイクロサーキット事業部を中心に、RoHS、REACHなどの欧州規制に関するユーザー要望の製品含有化学物質管理ガイドライン等に的確に対応しております。

三井金属グループPRTR対象物質の排出量・移動量集計結果(2003年度から2005年度推移)

単位:kg

物質番号	対象物質名 (排出量合計順)	2003年度		2004年度		2005年度							
		排出量 合計	移動量 合計	排出量 合計	移動量 合計	排出量				合計	移動量		
						大気	公共用水域	土壌	事業所における埋立処分		下水道	当該事業所の外へ	合計
1	311 マンガン及びその化合物	4,194,923	66,001	2,783,913	83,000	61	6,438	0	2,070,000	2,076,499	1	83,000	83,001
2	230 鉛及びその化合物	590,273	5,671	1,144,816	4,671	4,145	2,088	0	1,054,600	1,060,833	1	3,075	3,076
3	252 砒素及びその無機化合物	242,040	1,800	275,023	1,500	817	1,797	0	337,000	339,614	0	1,300	1,300
4	227 トルエン	119,806	23,300	126,806	22,500	131,000	7	0	0	131,007	0	27,000	27,000
5	283 ふっ化水素及びその水溶性塩	87,611	1,600	92,597	10	563	104,350	0	660	105,573	0	14	14
6	304 ほう素及びその化合物	62,193	4,800	70,323	5,100	1,127	69,633	0	1,500	72,260	0	11,650	11,650
7	232 ニッケル化合物	30,108	8,580	59,307	7,770	30	328	0	39,300	39,659	4	1,533	1,537
8	211 銅水溶性塩(錯塩を除く。)	17,734	93,290	19,781	136,320	311	3,277	0	19,130	22,718	0	185,180	185,180
9	60 カドミウム及びその化合物	17,473	36,055	20,375	31,900	395	228	0	21,070	21,694	0	13,590	13,590
10	207 アンチモン及びその化合物	3,465	5	9,514	4	80	140	0	16,911	17,131	0	52	52
17	145 ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	27,000	3,900	16,500	3,300	1,300	0	0	0	1,300	0	800	800

※2005年度の排出量が上位10物質までと本文掲載の17位のジクロロメタンの環境汚染化学物質について掲載